

NPO法人 故郷の海を愛する会

2015年度 事業報告

事業名「船に乗って海を学ぶ IN 2015」

事業名「ヨットに乗って風を知ろう、海を知ろう IN 2015」



目次

1 NPO 法人 故郷の海を愛する会の活動の目的と事業と組織	2
2 事業名「船に乗って海を学ぶ IN 2015」	
活動計画	3
活動報告 参加者募集と参加者	4
① 鳥羽商船高専の練習船に乗って、造船所見学	5
② 伊勢湾フェリーに乗って、伊良湖水道の見学と渥美半島の自然観察	8
③ 水産研究所の「あさま」に乗って、海洋環境を学ぶ	12
④ もうすぐクリスマス、学んで遊ぼう。商船学校の歴史と船と海の話	15
アンケートの集計	18
配布資料、募集ポスター、募集や活動記事掲載の広報紙・新聞等	23
3 事業名「ヨットに乗って風を知ろう、海を知ろう IN 2015」	
活動計画	27
活動報告	27
アンケートの集計	31
募集ポスター、募集記事掲載の広報紙等	32
4 その他の活動等	33
5 活動準備など	35
6 収支報告	36
7 2016 年度の活動計画	37
8 主催者の感想と反省など	38

* 2015年度は当初計画の事業「船に乗って海を学ぶ IN 2015」に加えて、追加事業「ヨットに乗って、風を知ろう、海を知ろう IN 2015」を実施しました。追加事業は中部小型船安全協会の日本財団助成事業として実施しました。当初事業では4回の活動を実施し、追加事業では1回の活動を実施しました。これらを併せて報告しています。

1. NPO 法人 故郷の海を愛する会の活動の目的と事業と組織

目的 定款で以下のように定めています。

第3条 この法人は、主に三重県内に在住する小中学生に対して、故郷の海を愛する心を育て、素晴らしい日本と日本の海を認識し『希望と憧れ』の気持ちを醸成させることに関する事業を行い、もってこどもたちの健全な育成に寄与することを目的とする。

事業 定款で以下のように定めています。

第5条 この法人は、第3条の目的を達成するため、安全、安心を確保のうえ、次の事業を行う。

特定非営利活動に係る事業

- ① 故郷の海を愛する心を育てる事業
- ② 海や船に親しむ活動の推進事業
- ③ 世界に繋がる海で活躍し世界に雄飛する気持ちを醸成する事業
- ④ 郷土の誇る明治の教育家「近藤真琴翁」の偉業を多くの人に知ってもらう事業
- ⑤ その他第3条の目的を達成するために必要な事業

その他、定款を含む団体情報は、カンパブログを参照ください。

<https://fields.canpan.info/organization/detail/1882169442#basicinfo>

組織 役員名簿

役職名称	氏名	常勤/非常勤	職業	報酬の有無
理事(会長)	川口 心也	非常勤	無職	無
理事(副会長)	三井 建次	非常勤	無職	無
理事(副会長)	江崎 隆夫	非常勤	会社社長	無
理事(会計)	畑 辰幸	非常勤	水先案内人	無
理事	古川 昭一	非常勤	無職	無
理事	水野 逸夫	非常勤	学校教員	無
理事	永井 功	非常勤	無職	無
理事	溝井 昇	非常勤	団体職員	無
理事	山口 伸輔	非常勤	会社社長	無
理事	西山 明	非常勤	無職	無
監事	武部 二三男	非常勤	無職	無

(会員数)

2016年1月時点での正会員数は個人94名と3団体。賛助会員数は14名となっています。

2. 事業名「船に乗って海を学ぶ IN 2015」

活動計画

事業目的 主に三重県内に在住する小中学生に対して、故郷の海を愛する心を育て、素晴らしい日本と日本の海を認識し、『希望と憧れ』の気持ちを醸成させることに関する事業を行い、もって子供たちの健全な育成に寄与することを目的とする。

事業目標 地域の小中学生が活動を通して世界につながる船や海を体験し、海と人との共生をめざし、海に親しみ、海を知り、海を守り、海を利用する知識・気持ちを持つようになる。

事業計画 年間4回のイベントを計画し、国立鳥羽商船高等専門学校・国土交通省中部運輸局・三重県教育委員会近隣市町自治体(鳥羽市・伊勢市・志摩市・松阪市・玉城町・明和町・南伊勢町・多気町・度会町)及び近隣市町教育委員会(鳥羽市教育委員会・伊勢市教育委員会・志摩市教育委員会・松阪市教育委員会・津市教育委員会・玉城町教育委員会・明和町教育委員会・南伊勢町教育委員会・多気町教育委員会・度会町教育委員会)等の後援を得て参加者募集を行う。国立鳥羽商船高等専門学校の練習船「鳥羽丸」等学校施設の利用等全面的な協力、鳥羽商工会議所、鳥羽市観光協会、鳥羽商船同窓会の後援を得て事業を実施していく。日本海事センター、全日本海員組合、全日本船舶職員協会、日本中小型造船工業会、東京大学海洋アライアンス海洋教育研究促進センター等からの助成を得て事業を実施する。

当初計画は以下の通り。

活動その① 鳥羽商船高専の練習船に乗って、造船所見学

鳥羽商船高専の練習船「鳥羽丸」に乗船し、伊勢湾航海中は船橋見学・船の設備、構造、機関等のお話、ロープワーク、等の体験学習。津市JMU 造船所の見学。

募集:50名 活動場所:伊勢湾・津市 活動時期:7月下旬 活動協力:鳥羽商船高専・JMU 造船所

活動その② 伊勢湾フェリーに乗って、伊良湖水道の見学と渥美半島の自然観察

伊勢湾フェリーに乗って伊良湖岬へ。乗船中は船橋でその様子を見学、伊良湖岬では伊勢湾海上交通センターを見学、渥美半島の自然をボランティアガイドと共に観察する。

募集:100名 活動場所:鳥羽～伊良湖岬・渥美半島 活動時期:8月下旬

活動協力:伊勢湾フェリー、伊勢湾海上交通センター、渥美半島観光ボランティアガイド

活動その③ 水産研究所の「あさま」に乗って、海洋環境を学ぶ

鳥羽からバスで浜島に移動し、三重県水産研究所の「あさま」に乗船、海洋観測を見学し、研究所内の施設も見学する。

募集:50名 活動場所:鳥羽～浜島、英虞湾 活動時期:9月下旬 活動協力:三重県水産研究所

活動その④ もうすぐクリスマス、学んで遊ぼう。商船学校の歴史と船と海の話

鳥羽商船高専の校内で、船や海の講義を聞き、施設を借りて操船シュミレーターで模擬操船体験や大型機関の発停体験をする。他にコンピューター・プログラム・ロボットなどの講義を聞き、ロボットやアプリの操作体験をする。

募集:50名 活動場所:鳥羽商船高専校内 活動時期:12月下旬 活動協力:鳥羽商船高専

募 集 募集対象を三重県の津市以南の小中学生5,6年生と中学1,2年生とする。

対象学校毎にポスターを、対象の子供達にリーフレットを用意する。

各市町の広報紙に募集広告を掲載依頼。中部運輸局にプレスリリースの協力依頼。

参加費 活動その①②③については¥1000、その④は無料とする。

活動報告

参加者募集 活動その①②③について、三重県の津市を含む中南勢地区の各市町の教育委員会の後援を得て、当該地区の小中学校に募集のポスター、対象の子供達にリーフレットを配布して頂きました。又、各市町の広報紙に募集記事を掲載して頂きました。加えて、中部運輸局にも後援をお願いし、活動紹介と募集についてプレスリリースをして頂きました。他にも会員がポスター配布、ビラ配りをして参加者の募集を行いました。

募集のポスターに関してはA3サイズで500枚印刷しました。リーフレットはA4サイズで26000枚印刷しました。対象地区の小中学校数は合計で221校あり、以下の通りです。

	校数	クラス	中学1,2年	校数	クラス	小学5,6年	合計
伊勢市	12	77	2,296	24	86	2,271	4,567
鳥羽市	5	19	366	9	20	284	650
志摩市	7	29	878	17	42	788	1,666
松阪市	12	83	2,688	36	119	2,941	5,629
明和町	1	13	469	6	16	406	875
玉城町	1	10	349	4	14	340	689
多気町	2	12	339	5	14	272	611
度会町	1	6	157	1	6	156	313
南伊勢町	2	6	163	3	7	120	283
津市	21	140	4,403	52	183	4,797	9,200
合計	64	395	12,108	157	507	12,375	24,483

津市は今期から追加

活動その④について、同様に三重県の津市を含む中南勢地区の各市町の教育委員会の後援を得て、各市町の広報紙に募集記事を掲載して頂きました。又、今期の活動に参加した子供達に招待状を配布し参加者の募集を行いました。

参加者 「船に乗って海を学ぶ IN 2015」の4件の活動の延参加者は以下の通りです。

	伊勢市		鳥羽市		志摩市		南伊勢町		津市		松阪市		明和町		玉城町		多気町		度会町		他		合計		
	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	
小学4年以下	2	0	4	1	1	0	4	2	3	0	0	10	0	0	0	1	5	1	0	0	2	4	21	19	
小学5年	15	11	1	4	5	3	0	1	4	0	0	0	1	4	0	1	0	0	0	0	0	0	26	24	
小学6年	11	13	3	1	5	0	0	0	7	5	12	7	14	0	3	1	0	5	0	0	0	1	55	33	
中学1年	2	1	0	0	3	0	0	0	9	0	2	4	0	0	1	0	1	0	0	0	0	0	18	5	
中学2年	2	2	0	0	0	0	2	1	0	1	0	0	0	0	0	1	0	1	0	0	0	0	4	6	
中学3年	1	0	0	0	0	3	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	4	
高校1年								5																0	5
合計(男女別)	33	27	8	6	14	6	6	9	24	7	14	21	15	4	4	4	6	7	0	0	2	5	126	96	
合計	60	14	20	15	31	35	19	8	13	0	7	222													

個々の活動の参加者数については

活動その① 募集50名 参加者子供43名
 活動その② 募集100名 参加者子供105名 大人31名
 活動その③ 募集40名 参加者子供36名
 活動その④ 募集50名 参加者子供38名

活動その① 鳥羽商船高専の練習船に乗って、造船所見学

7月24日 実施

台風の接近による影響が心配されましたが、24日は天候に恵まれ、活動は予定通り無事実施しました。子供達の参加者は50名ほどの応募がありましたが、最終的に43名の参加でした。主催者とボランティアは20名が参加、全日本海員組合名古屋支部から1名がゲスト参加しました。

鳥羽商船高専からロープワークの指導役として教員が1名参加となりました。鳥羽丸の乗組員には船内での説明や体験活動に協力をしてもらいました。

当日の行動計画

- 08:30 受付開始(鳥羽商船高等専門学校、正門入った広場にて)
- 08:50 集合時刻 受付後、班別に集合
- 始まりの挨拶 故郷の海を愛する会 会長 川口 心也
- 活動の際の注意など 故郷の海を愛する会 三井 建次
- グループ別に集合⇒棧橋に移動。乗船前に船長・機関長の挨拶と乗船中の注意説明
- 09:15 練習船鳥羽丸出航(時間厳守) 船内でライフジャケットの着用など救命設備の説明。
船橋・機関制御室見学、結索体験(4グループ毎に夫々20分程度、1組は自由時間)
伊勢湾を北上 デッキなどから海岸や街並み山並みを遠望。
- 11:30 JMU 造船 津事業所 ドック横の浮き棧橋に到着。
ヘルメットを装着し下船。バス2台に分乗して[くもづホテル&コンファレンス]に移動。
- 12:00 ホテルで昼食。
- 13:00 ホテルで、JMU造船所の説明を受け・案内VTRを見る。
鉄の重さを体感する為に用意された「鉄片」を持ちあげてみる。
造船所に移動、構内見学 バスで移動しながら、JMU造船所職員の説明を受ける。
*1969年に開設され敷地面積は、約737,800㎡
*長さが500メートルもあるドックが2本。700t吊り上げられるクレーン。
* 建造中の鉄鉱石運搬船をドックゲート上で見学。集合写真。
- 14:30 鳥羽丸に乗船。その後、出航。鳥羽に向う。
- 15:00 船橋・機関制御室見学、結索体験(4グループ毎に夫々20分程度、1組は自由時間)
- 16:45 鳥羽商船高専の棧橋に到着。船長・機関長、関係者にお礼。下船。
棧橋で集合写真撮影
- 17:00 鳥羽商船高専校内で終わりの挨拶。鳥羽商船高専校長 挨拶。
- 17:15 参加者 解散

練習船の船内では子供たちは船橋で航海計器や海図の説明を受け、双眼鏡で故郷の海や山の様子も眺めました。機関制御室ではなぜ船が浮き、船が進むか等の説明を受けました。上甲板上でロープの結び方の体験もしました。

造船所では、先ず、造船所の歴史や船ができるまでを紹介するビデオを観賞し、水の約8倍の重さのある鉄片を持ち上げ、その重さを体感しました。その後、バスで構内を巡り、船を作る工程を見学しました。建造ドックのゲートで下車し、建造中の船体やプロペラを見ました。その大きさに圧倒されたようです。

活動の様子を以下に紹介します。



練習船鳥羽丸乗船



班毎に船橋見学



前方ワッチ



機関長の話



ロープの結び方の体験



いよいよJMU造船所に



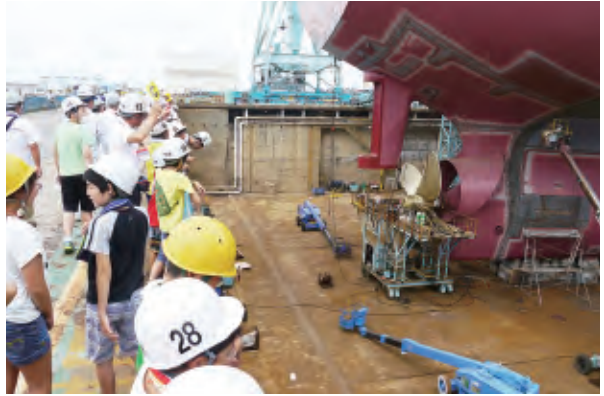
造船所の説明



鉄(水の8倍の重さ)体感



2台のバスでドック見学



プロペラ大きいね



再度、鳥羽丸乗船 ありがとう。

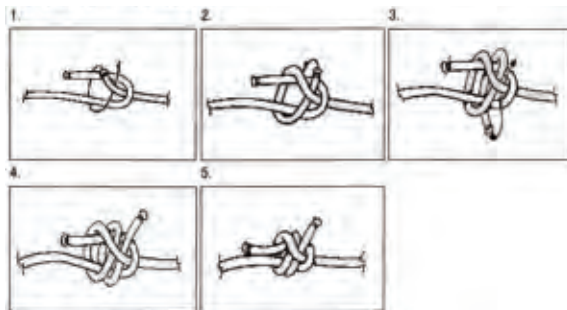


鳥羽丸の前で集合写真

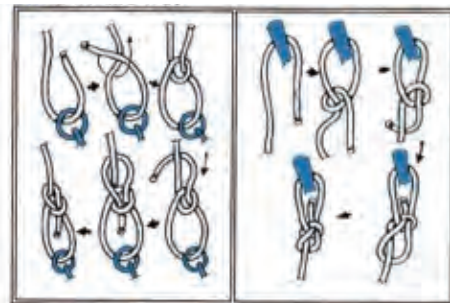
その後、解散

ロープの結び方の一例

ダブルシートベンドの結び方



もやい結びの例



活動その② 伊勢湾フェリーに乗って、伊良湖水道の見学と渥美半島の自然観察

8月20日実施

当日の朝、三重県南部では雨が降っており、参加者の集まりが心配されましたが、ほぼ予定通りの子供達105名、保護者31名集まってくれました。主催者側は19名、鳥羽商船高専の校長と事務部長も参加して頂きました。鳥羽海上保安部からも2名参加して頂きました。

いつもは子供たちだけの活動ですが、今回は保護者も参加して頂きました。夏休みの良い思い出となったのではないのでしょうか。

当日の行動計画

A グループ		B グループ	
08:30	伊勢湾フェリー鳥羽で 受付開始		
09:00	班別に集合 主催者挨拶・注意事項	}	A グループと同じ
09:20	乗船開始 09:30 フェリー出港 伊良湖へ		
09:50	フェリー船上で船橋見学		
10:25	伊良湖到着、下船		
10:30	歩道橋から伊勢湾マーティスへ	10:30	遊歩道から恋路ヶ浜へ
10:45	伊勢湾マーティス到着		ガイドさん案内
10:50	伊勢湾マーティス見学 45分	11:15	バスに乗車 日出の石門へ
	3 班に分かれ見学	11:25	駐車場から歩き、ヤシの実の歌碑
11:35	見学終了 恋路ヶ浜へ移動 歩き		日出の石門で説明を受ける
11:45	バスに乗車、ビューホテルへ		その後、元の駐車場へ移動
11:55	ホテル到着 食事会場へ	12:05	バスに乗車 ホテルへ
	ブッフエスタイル昼食	12:15	ホテル到着 食事会場へ
12:50	ホテル屋上へ移動		ブッフエスタイル昼食
13:00~	展望台で説明を受ける 20分程度	13:00	ホテル屋上へ移動
13:25	バスに乗車 日出石門へ移動		展望台で説明を受ける 20分程度
13:40	駐車場から歩き ヤシの実の歌碑	13:45	バスに乗車 恋路ヶ浜へ
	日出の石門で説明を受ける。	13:55	恋路ヶ浜で下車、マーティスへ
	その後、元の駐車場へ移動	14:10	伊勢湾マーティス到着
14:20	バスに乗車、恋路ヶ浜へ移動	14:15	伊勢湾マーティス見学45分
14:30	遊歩道で案内を受ける	15:00	見学終了 クリスタルポルトへ
15:15	クリスタルポルト到着	15:15	クリスタルポルト到着
15:30	集合写真 その後、自由時間		
16:10	乗船準備 集合 乗船	}	A グループと同じ
16:30	伊勢湾フェリー出港 鳥羽へ		
	航海中 アンケート記入		
17:25	フェリー、鳥羽に入港		
17:30	下船、ターミナルで解散の挨拶 解散		

*伊勢湾海上交通センター=伊勢湾マーティス

天気予報によると伊良湖では朝まで小雨、のち曇りでしたので、予定通り開催としました。伊勢湾フェリー船上では海上保安部の「海上安全教室」と船橋見学が実施され、伊良湖岬では伊勢湾海上交通センターの見学と渥美半島の自然観察を行いました。伊勢湾海上交通センターでは伊良湖水道を通航する船舶を管制する様子を見学しました。北に向かう自動車専用船が2隻続いて水道を通航していました。渥美半島の自然観察では田原市商工観光課にお世話になり、渥美半島観光ボランティアガイドの会の8名の皆さんに日出の石門や恋路ヶ浜と伊良湖岬の遊歩道を案内して頂きました。伊良湖岬灯台や遊歩道わきに咲く野草の名前を覚えてもらいながらの活動でした。途中のスケジュールが午前中の雨のために一部変更となりましたが、関係者の皆さんのご協力により、無事に終えることができました。

活動の様子を以下に紹介します。



鳥羽から伊良湖に向かう伊勢湾フェリーの船上で鳥羽海上保安部の「海上安全教室」が開催され、海上交通のルール、海難防止、海洋汚染防止などについて話を頂きました。又、ライフジャケットの使い方、海や川に落ちた時の対処の仕方などを勉強しました。

伊勢湾海上交通センターで伊良湖水道を通航する船を管制する様子を見学しました。



管制室で



会議室で



屋上で

伊良湖ビューホテルのランチブッフェの後、屋上で素晴らしい景色を眺めました。神島も鳥羽も見えました。晴天であれば、蒼く澄んだ海を見ることができたのですが。その後、渥美半島観光ボランティアガイドの会の皆さんの案内を日出の石門と恋路ヶ浜・伊良湖岬遊歩道で受けました。



伊良湖ビューホテル屋上で



バスで移動しました。



日出の石門への道で説明。



石門前でも説明。



恋路ヶ浜「ヤシの実」記念碑



遊歩道 伊良湖岬灯台



帰りの伊勢湾フェリー 伊良湖から鳥羽



フェリーの船橋見学をさせていただきました。

伊良湖岬遊歩道で見つけた野草



はまかんぞう



はまあざみ



いわだれそう



かものはし



はまごう



はまなでしこ

活動その③ 水産研究所の「あさま」に乗って、海洋環境を学ぶ

9月26日実施

天気予報によれば当日は曇り時々雨の予報で、参加者の集まりとか、活動の実施可否で気をもみましたが、雨もなく無事に予定通りに実施できました。

研究所での見学者規定に沿うように子供達40名の参加を予定していましたが、当日の急な体調不良など不参加者があり、36名の参加となりました。主催者は看護師さんを含め20名の参加となりました。

当日の行動計画

- 08:30 受付開始 順次班分けする。4班に分ける。場所:鳥羽バスターミナル
- 09:00 集合時間 バス乗車、浜島の水産研究所に出発・移動
- 09:45 水産研究所到着 下車 現地集合の参加者と合流。
- 10:00 始まりの挨拶 主催者・研究所
- 10:10 2グループに分かれ活動 2時間ほどかけて以下の見学・体験を行う。
- あさま 海洋環境調査の様子を見て、体験する。
 - 海水温度観測 衛星を使い太平洋の海水温度を調べ、漁船等に通報
 - 養殖見学 伊勢エビ、あわび、真珠など
 - 海流・研究所 海流の話と研究所の概要
- 12:15 水産研究所、終わりの挨拶 バスに乗車 南伊勢町下津浦生活改善センターに移動
- 12:40 南伊勢町下津浦生活改善センターに到着 下車 昼食
- 13:30 南勢海洋少年団の協力を得て、カッター体験など 班付 B×4名
- カッター 2～3名大人経験者+子供5名×2艇 B×5名
 - 結索 ロープの結び方体験 B×2名
 - カヌー 1人乗り6艇 B×5名
 - 手旗信号 手旗信号の体験 B×1名
- 離接岸 B×1名

	A1班	A2班	B3班	B4班
13:30～	カッター体験	結索体験	カヌー体験	手旗信号体験
14:00～	手旗信号体験	カッター体験	結索体験	カヌー体験
14:30～	カヌー体験	手旗信号体験	カッター体験	結索体験
15:00～	結索体験	カヌー体験	手旗信号体験	カッター体験

センターから浜への移動はバス。約300m

- 15:30 アンケート記入
- 15:45 終わりの挨拶 鳥羽に向け出発 現地集合組は下津浦で解散
- 16:40 鳥羽に到着 簡単に終わりの挨拶 解散

*班付Bはボランティアの意

当日、鳥羽バスセンターに集合し、9時過ぎにバス1台に乗車、出発、志摩市浜島の水産研究所に向かいました。南勢海洋少年団の参加者は水産研究所で合流となりました。

水産研究所では、会議室で水産研究所の仕事の内容を聞き、その後、2グループに分かれ、研究所内の見学と、調査船「あさま」の乗船見学となりました。研究所内では、伊勢エビの幼生を見学、衛星を使って海流や海水温度を調査・公表している様子を見学、更にはアワビや真珠を作るアコヤ貝の養殖について

資料を見ながら説明を受けました。調査船「あさま」では船の設備の説明とともに、海の水産資源の調査、海洋環境調査などをどのように行っているか見せて頂きました。

待機中にプラスチックの板に魚の絵を自分で書き、その板を加熱して縮小させ、各自の記念品としていましたが、子供たちは全員が無言で絵を描き、楽しんでいました。

午後1時に南伊勢町の下津浦に移動し、下津浦生活改善センターで昼食後、4班に分かれ、カッター・カヌー・手旗・結索体験を行いました。夫々を子供たちは楽しそうに体験していました。

4時過ぎに下津浦を出発し、5時過ぎに鳥羽バスセンターに到着、解散となりました。休日にもかかわらず見学体験に協力頂いた三重県水産研究所の方々やカッターやカヌー体験に協力頂いた南勢海洋少年団の方々のおかげで子供たちは海や船を知る良い体験になったと思います。



研究所の会議室で仕事等の説明を受けた。伊勢エビの幼生、フィロゾーマ、クモの様な形にびっくり。



衛星で海水温度を調べ、漁船等に情報提供。



アワビの貝殻が緑色なら放流したアワビであると。



調査船「あさま」に乗船。



海洋環境調査の様子を見せていただきました。



下津浦生活改善センターでおいしい昼食。



その後、下津浦の海岸に移動。



カッター体験



カヌー体験 転覆しないカヌーです。



手旗信号体験 ア・イ・ウ・エ・オ。



結索(ロープの結び方)体験 簡単なようで難しい。

NHKのマイクロワールド「伊勢エビの奇妙な大変身」大変面白いです。これに研究所で見たフィロゾーマが出てきます。



イセエビ 奇妙な大変身

http://www.nhk.or.jp/rika/micro/?das_id=D0005100075_00000

活動その④ もうすぐクリスマス、学んで遊ぼう。商船学校の歴史と船と海の話

12月12日実施

本年度最後の活動も天候に恵まれ、無事に予定通りに実施できました。
 子供たちの参加者は40名を超える応募があったものの最終的には38名の参加となりました。
 主催者ボランティアは合計で20名の参加でした。加えて鳥羽商船高専の先生・学生が休日にもかかわらず30名程度が体験活動等に協力してくれました。

朝10時に鳥羽商船高専に集合し、3つの講演と4つの体験活動を実施し、午後の3時半過ぎに解散となりました。

当日の行動計画

09:30	受付開始 百周年記念館内			
10:00	集合時刻 視聴覚教室			
10:05	会長挨拶 視聴覚教室 (講演)			
10:10	女性航海士の話	商船学科	准教授	小島 知恵 氏
10:50	コンピューターの新しい楽しみ方	制御情報工学科	教授	江崎 修央 氏
11:30	昼食タイム 潮騒会館 昼食後、ビンゴゲームを行う。			
12:35	集合写真 撮影 近藤真琴記念碑 参加者全員と各班毎で撮影。 (講演)			
12:50	マリンエンジニアの話	元客船日本丸	機関長	長谷川 真佐雄 氏
13:35	(チャレンジ体験コーナー)			
~15:15	4班(A,B,C,D)に分かれて行動します。 ・操船シュミレーターの体験 ・ディーゼルエンジンの起動と停止の体験 ・賞を取ったアプリやロボットの操作体験			
	操船シュミレータ室	内燃機関実習工場	3号館CAD/CAM室	ものづくり工房
13:35~	A	B	C	D
14:00~	D	A	B	C
14:25~	C	D	A	B
14:50~	B	C	D	A
15:15	アンケート記入 視聴覚教室			
15:25	学校挨拶	鳥羽商船高専	副校長	石田 邦光 氏
15:30	終わりの挨拶 解散			

講演は

「女性航海士の話」鳥羽商船高専准教授の小島さんが航海訓練所の帆船航海の体験も含め話をしてくれました。船で働くのはかつては男性だけだったのですが、段々と女性が増えてきています。
 「マリンエンジニアの話」元客船日本丸機関長の長谷川さんが客船の機関士の話などをしてくれました。エンジンの排気ガスで蒸気を発生させ省エネしていることも知りました。

「コンピューターの新しい楽しみ方」鳥羽商船高専教授の江崎さんが新しくできたアプリの話をしてくれました。加えて、今話題のドローンを校庭で実際に飛ばしてドローンからの映像を見せてくれました。300mほど離れたポンツーンに接岸中の練習船鳥羽丸の様子が手に取るようにわかり、全員が興奮でした。

4つの体験活動については

「操船シュミレータの体験」横浜港に入港する鳥羽丸という想定で、子供たちが交代で操船しました。視界不良となったり、荒天となったり、夜間航行もありました。子供たちは舵を取るのが精一杯で船の動きまでつかめないようでした。次の機会には前方がよく見えるように踏み台を用意しましょう。

「ディーゼルエンジンの起動と停止の体験」子供たちがエンジンの起動準備、起動、出力調整、エンジン停止などの体験をしました。大きな音に驚いていたようです。

「賞を取ったアプリやロボットの操作体験」大会で賞を取った「すなケッチ」等のアプリや輪投をするロボットの操作体験をしました。子供たちは輪投をするロボットにびっくりしたようです。

今回のイベントは鳥羽商船高専の「公開講座」にもなっていました。

以下に活動の様子を紹介します。

講演



女性航海士の話



コンピューターの新しい楽しみ方



ドローンも飛んだ。



客船の機関長の話



昼食後のビンゴゲーム



輪投ロボット体験



エンジン発停



遠隔操作体験



操船シュミレータ体験



ロボット体験

以上

アンケートの集計 活動その①

参加者全員43名中42名が書いてくれました。1名は無記入です。それを以下の通りまとめました。

- Q1** どこから参加したか？ **A** 省略します。
- Q2** 学年と性別は？ **A** 省略します。
- Q3** イベントを何で知った？ **A** 学校 新聞 広報紙 知人など その他？
24 0 2 9 4 4
昨年の平均値と大差ない。その他は「父、母」が2名
- Q4** 誰が参加を決めたか？ **A** 自分 親 先生 友達 その他？
27 9 0 6 2 4
複数回答あり、どちらも加えています。昨年とほぼ同じです。
- Q5** 朝何時に家を出発した？
(集合は8時50分) **A** 6時～7時が17名、ほとんどが津と松阪。7時～8時が20名。
最も遅い人は8時20分。 募集範囲も津市が限度かと。
- Q6** 何が楽しかった？ **A** 操舵室 機関制御室 ロープワーク 船内見学 自由時間
14 1 15 14 4
意外とロープワークと船内見学が楽しかったようです。
- Q7** 鳥羽丸でびっくりした事、
えーと感じたこと **A** 船の大きさ6名、船の速さ6名、階段が急2名、作るのにお金がたく
さんいる2名、船にプロペラがあること、自動運転できること、使う
燃料の量、普通の家の様、機関長の話、特にない人が20名。
- Q8** 鳥羽丸で他の参加者や
ボランティアと話しましたか？ **A** 「はい」31名 「いいえ」7名
「はい」の回答が8割程度でした。活動を通して子供同士、ボラン
ティアといろいろ話をしたようです。初めて会った人たちと話ができて
良い経験になったことでしょう。「いいえ」をもっと減らしたいですね。
- Q9** 鳥羽商船高専を知っていましたか？ **A** 「はい」21名 「いいえ」20名
「はい」の人はどんな学校とっていましたか？ 船の学校14名、難し
い学校4名 「いいえ」が約半数。三重県の子供達なのに知らない
人が意外と多いです。
- Q10** 鳥羽丸の速力は何ノット？ **A** 正解の11～12ノットの回答が35名、不正解2名、わからない6名
何ノットが良くわからない。時速何KMのほうが判るのでしょうか。
- Q11** 鳥羽～津の造船所迄の航海距離は？ **A** 正解20マイルの回答25名、不正解1名、わからない17名
マイルとノットについては船内で話をしているのですが、理解
不十分ですね。
- Q12** 鳥羽～津の造船所迄で燃料は
何リッター使った？ **A** 正解400 リッターの回答は22名、不正解10名
わからない10名。これも機関長が話をしているのですが、聞いて
いないのかわからないのか。
- Q13** 鳥羽丸を後ろに進めるのは
どうしますか？ **A** 正解はプロペラの羽の角度を逆にする22名、プロペラを反対に回
す4名、わからない16名。これも機関長が話をしているのですが。
- Q14** 津の造船所で何が楽しかった？ **A** 昼食 ビデオ説明 バスで構内見学 他
20 6 18 4
- Q15** 津の造船所で一番びっくりした事？ **A** とてつもなく大きい船22名、広い造船所2名、ブロック建造2名
無回答11名。建造している船の大きさにびっくりしたようです。

- Q16 300m長さの船で使われている鉄板で一番厚いのは何CM? A 2~4cmが半数。わからないが残り
- Q17 海洋少年団を知っていましたか? A 「はい」13名 「いいえ」17名
意外と知らない子供が多かったです。
- Q18 手旗信号、今までに見たことは? A 「ある」10名 「ない」20名
同様に見たことのない子供達が多かったです。
- Q19 今日、新しい友達が出来ましたか? A 「はい」23名 「いいえ」7名
多くの子供達が新しい友達を得たようです。嬉しいことです。
- Q20 今後、このような活動に参加したいですか? A 「はい」28名 「いいえ」2名

活動その②

アンケート集計 参加者105名 回答あり85名

- Q1 どこからの参加ですか? A 省略します。
- Q2 学年と性別は? A 省略します。
- Q3 イベントを何で知った? A 学校 広報紙 知人 その他
47 13 14 4
- Q4 誰が参加を決めましたか? A 自分 親 先生 友達
34 52 0 4
- Q5 朝何時に家を出発した?
(集合は9時00分 鳥羽港) A 7時~8時は62名、最も早い人は6時。
- Q6 今日何が一番楽しかった? A フェリー39名、昼食35名、マーティス見学3名、友人と話
2名、日出の石門2名、ホテル屋上2名、知らない人と友達
に2名、自由行動2名、等・
- Q7 びっくりした事、エーと思った事。 A 船が大きく、速い事6名、海の景色3名、レーダーで色々
わかる4名、船の揺れ、重さ2名、船のプロペラ3名、伊良
湖水道2名、灯台1名、たくさんの船2名、船と通信する2名
海上交通ルールがある1名、ヤシの実1名、バイキングが
豪華4名、日出の石門波で穴3名、等・
- Q8 他校の人やボランティアの人と
話したか? A 「はい」54名 「いいえ」22名
色々なことを話したようです。
- Q9 飲み物をどれだけ飲んだ? A ペットボトルで1本(500ml)49名、2本13名
- Q10 新しい友達が出来ましたか? A 「はい」39名 「いいえ」42名
- Q11 このような活動に又参加したい? A 「はい」71名 「いいえ」9名
- Q12 来年はどのような活動を期待? A 多かったのが宿泊付きの活動7名、釣り6名、泳ぐ4名
神島4名、船に乗る3名、海の生物を見る2名、等・
- Q13 この会を知っていましたか? A 「はい」11名 「いいえ」73名
知名度が低いですね。まだまだです。
- Q14 故郷の海を愛する会の活動に
参加したことある? A 「はい」17名 「いいえ」67名
- Q15 鳥羽商船高専を知っていたか? A 「はい」31名 「いいえ」53名
- Q16 伊勢湾海上交通センターの仕事は? A 伊良湖水道の交通整理と海の安全確保61名
多くの参加者が良く理解していました。

- Q17 伊良湖水道を通過する船の数は? A 350隻と答えたのが15名、500隻が7名でした。
- Q18 黒潮のスピードは? A 2~3 ノットと答えたのが20名いました。
- Q19 渥美半島に流れついたヤシの実はどこから? A 沖縄、南の島、石垣島、フィリピンが35名。
- Q20 遊歩道で見かけた野草の名前は? A ネコの舌11名、浜アザミ7名、はまゆう5名、ユリ4名、はまごう4名、浜なたまめ2名、なでしこ2名、等…
- Q21 日出の石門はどうして出来た? A 波の浸食16名、昔、貝が積み重なって出来た岩4名
- Q22 鳥羽と伊良湖の距離は? A 30km 5名、あまり良く判っていない。
- Q23 海上安全教室で何を学んだ? A 灯台14名、船の安全・交通整理13名、仕事の内容9名
- Q24 渥美半島観光ボランティアガイドは何を教えてくださいましたか? A 植物・花13名、灯台2名、海の事3名、ヤシの実2名、歴史2名、地名3名、サシバ1名、波の浸食で穴2名
- Q25 伊良湖ビューホテルの昼食は? A とっても良かった65名、良かった13名、普通5名

活動その② 参加した保護者

- Q1 この活動を何で知った? A チラシ27名 広報紙1名
- Q2 応募は何で? A ファックス20名、電話5名、イーメール3名 他2名
- Q3 子供さんが今まで参加した事ある? A 「はい」2名 「いいえ」28名
- Q4 故郷の海を愛する会を知っていた? A 「はい」4名 「いいえ」26名
- Q5 今回の活動の印象は? A 好印象12名、親子で参加出来て良かった2名、お得1名海上保安部の話が良かった1名、お昼が良かった1名ボランティアの連携が悪い1名まとめが良くない3名、話が聞こえない1名、忙しすぎる1名 無記入 7名
- Q6 子供だけの参加は考えなかった? A 「はい」14名 「いいえ」16名
- Q7 一緒に参加した理由は? A 家族の思いで作り6名、子供だけだと心配9名、自分が行きたかった6名、ランチを食べたかった1名、イベントの中味が心配だった1名弟妹も参加したので2名、勉強の為1名、夏休みの計画だった1名
- Q8 子供さんをこれからも参加させたい? A 「はい」25名 「いいえ」4名
- Q9 これからも一緒に参加したい? A 「はい」24名 「いいえ」5名
- Q10 今後の活動へのアドバイスを A 企画は良いが運営に問題ある。集合してから時間がかかり、並ぶ場所もはっきりしない。行動予定が知らされない。説明の声が小さく聞きにくい。中身が多すぎて忙しすぎる。親も一緒にいきたい。

今回は保護者も参加募集しました。31名が参加となりました。これからも子供たちを参加させたい人、自分も一緒に参加したい人が8割程度ありました。2割の方々が活動に不満があり、運営について改善すべきことを指摘されました。真摯に受け止め、次回から全員の方々が又参加したくなるように努力します。

活動その③

参加者全員36名中33名が書いてくれました。3名は無記入です。それを以下の通りまとめました。

- Q1** どこから参加したか？ **A** 省略します。
- Q2** 学年と性別は？ **A** 省略します。
- Q3** イベントを何で知った？ **A** 学校 6 0 0 6 5 10 9
TV 新聞 広報紙 知人など その他 ?
広報紙で知った人が6名いました。その他は全てが海洋少年団です。
- Q4** 誰が参加を決めたか？ **A** 自分 15 親 12 先生 0 友達 3 その他 3 3
- Q5** 朝何時に家を出発した？
(集合は鳥羽で9時00分) **A** 最も早く家を出たのが5時、7時～8時が19名、それより前が5名。
- Q6** 何が楽しかった？ **A** カヌー体験21名、カッター体験14名、手旗体験3名、あさまに乗った3名、プラバン体験2名、研究所の話1名。複数回答あり。カヌー体験が楽しかった人が多かったです。
- Q7** びっくりした事、エーと感じた事 **A** カッターのオールの重さ13名、カヌー体験3名、伊勢エビの赤ちゃんのクモのような形4名、その他、結索でエビ結びがある、手旗信号、プランクトンの色、アサリが海水を清浄する等
- Q8** 活動中に他の参加者やボランティアと話をしましたか？ **A** 「はい」31名 「いいえ」2名
活動を通して子供同士、ボランティアといろいろ話をしたようです。初めて会った人たちと話ができて良い経験になったことでしょう。
- Q9** 新しい友達が出来ましたか？ **A** 「はい」24名 「いいえ」8名
多くの子供たちが新しい友達が出来たと答えています。嬉しいですね。
- Q10** 今後もこのような活動に参加
したいですか？ **A** 「はい」32名 「いいえ」0名
回答してくれた全員が又参加したいと。嬉しいですね。
- Q11** 来年はどんな活動を希望しますか？ **A** カッター・カヌー体験7名、釣り2名、工作、泳ぎ、海の生物観察
キャンプ、パラグライダー、ハロウィンパーティーなど。
- Q12** NPO 法人故郷の海を愛する会を
知っていましたか？ **A** 「はい」16名 「いいえ」15名
約半数が知っていたようですが、まだまだ知名度が低いですね。
- Q13** 本会の活動に参加したことが
ありますか？ **A** 「はい」18名 「いいえ」13名
- Q14** 鳥羽商船高専を知っていましたか？ **A** 「はい」17名 「いいえ」14名
知っていた人で9名の方が船の学校と理解していました。
- Q15** 海洋少年団を知っていましたか？ **A** 「はい」13名 「いいえ」18名
知らない人のほうが多かったですね。
- Q16** 水産研究所の調査船「あさま」の
仕事は？ **A** 海の水質調査や魚の研究など21名
あさまに乗船して水質調査の様子を見せてもらったのですが??
- Q17** イセエビの幼生の形はどんな？ **A** 27名がクモのような形と答えました。平べったいくモのような形をした物が伊勢エビになるとは、誰もが不思議に思います。
- Q18** 日本沿岸の海水温度は何を使って
観測していますか？ **A** 人工衛星だと答えてほしかったのですが、2名のみがそのように
答えてくれました。機械、道具、レーダーと答えた人が9名。
- Q19** 黒潮の速さはどれくらいですか？ **A** 6名が速いと答えました。 1.5～2.5 ノットで流れています。
研究所の人が話の途中で話してくれているのですが。

- Q20 カッター体験は楽しかったですか? A 「はい」29名 「いいえ」2名
- Q21 手旗信号は今までに見たことがある? A 「はい」20名 「いいえ」11名
- Q22 手旗信号を覚えたいと思いましたか? A 「はい」26名 「いいえ」4名
- Q23 ロープ結び方体験は楽しかったですか? A 「はい」23名 「いいえ」4名
- Q24 どんな結び方を覚えましたか? A エビ結び7名、もやい結び2名など
- Q25 カヌーは今までに体験がありましたか? A 「はい」12名 「いいえ」18名

活動その④

参加者全員38名中37名が書いてくれました。1名は無記入です。それを以下の通りまとめました。

- Q1 どこから参加したか? A 省略します。
- Q2 学年と性別は? A 省略します。
- Q3 イベントを何で知った? A 学校 新聞 広報紙 知人など その他 ?
11 1 5 15 5 2
広報紙で5名応募。
- Q4 誰が参加を決めたか? A 自分 親 先生 友達 その他 ?
18 18 0 2 0 1
複数回答あり、どちらも加えています。昨年とはほぼ同じです。
- Q5 朝何時に家を出発した?
(集合は10時00分 鳥羽商船高専) A 8時～9時が29名、最も早く家を出た人は6時半。
- Q6 講演で何が楽しかった? A 女性航海士2名、コンピューターの新しい楽しみ方27名
マリンエンジニア1名。 残念ながら船の話ではなくて
コンピューターの話が楽しかったようです。
- Q7 体験コーナーでは何が楽しかった? A 全て楽しかった3名、ものづくり工房13名、CAD/CAM室
13名、操船シミュレーター5名
- Q8 今日、びっくりした事、エーと感じたこと。 A 船の関係では、帆船航海でハワイ迄1か月もかかった事。排
ガスで蒸気を作る事。いろんな機械が一杯ある事。大きい音が
する事。日本人船員がかつては28000人いた事。昔、幽霊船が
本当にあった事。牛や豚を船の上で飼っていた事。ワンピースの
ナミを知らない人がいる事。近藤真琴が関係していた事(これは
多分新選組の近藤誠の事かと)工業系学科の関係では、輪投
のロボットがすごい事。ドローンが空高く飛んだ事。すなケッチャ
コンピューターの新しい楽しみ方
- Q9 今日、他校の人やボランティアの
人と話をしましたか? A 「はい」28名 「いいえ」10名
- Q10 鳥羽商船高専を知っていましたか? A 「はい」31名 「いいえ」7名
- Q11 どんな学校とっていましたか? A 船の学校11名、難しい学校2名
- Q12 将来、入学したいと思いますか? A 「はい」13名 「いいえ」23名
- Q13 商船高専に入るならどの学科がいい? A 商船学科6名、電子機械工学科13名、制御情報工学科7名
- Q14 外国航路の船員になりたいですか? A 「はい」4名 「いいえ」33名
- Q15 女性航海士になりたいですか? A 「はい」3名 「いいえ」29名
- Q16 航海士の仕事はどんなことでしょうか? A 船を操縦したり、指示をしたりすると11名。 ロープを引くと答えた
人もいました。帆船の帆を張る作業が記憶にあったのでしょうか。

- Q17 マリンエンジニアになりたいですか? A 「はい」5名 「いいえ」27名
- Q18 マリンエンジニアの仕事はどんなことでしょうか? A 機械を動かしたり、整備したりする13名
- Q19 今日、新しい友達が出来ましたか? A 「はい」24名 「いいえ」14名
多くの子供達が新しい友達を得たようです。嬉しいことです。
- Q20 今後、このような活動に参加したいですか? A 「はい」36名 「いいえ」2名

・配布資料など

参加した子供達に以下の参考資料等を配布しました。

名前	提供者(発行者)
・船ってサイコー	日本船主協会
・海の上のプロフェッショナル	日本船主協会
・日本の海運 SHIPPING NOW	日本船主協会
・LAMER 海運が支える衣食住 ダイジェスト版	日本船主協会
・船の誕生 ～船ができるまで～	日本中小型造船工業会
・造船業は日本の生命線	日本造船工業会
・JMU 津事業所案内	JMU
・竣工船紹介はがき	JMU
・What is 内航海運?	日本内航海運組合総連合会
・海へ Catch the SUN	日本内航海運組合総連合会
・これが内航海運だ	日本内航海運組合総連合会
・船のお仕事チェック	日本海事広報協会
・2015 ジュニアシッピングジャーナリスト賞 案内	日本海事広報協会
・かいじょうほあん キッズてちょう	海上保安庁
・水産要覧	三重県
・水産研究所だより	三重県水産研究所
・要覧	三重県水産研究所
・さかなの目 浜辺の生き物編 ハンドブック	三重県農水商工部水産資源室
・さかなの目 診断ハンドブック 小学生版	三重県
・調査船 あさま 竣工記念	三重県
・いっしょにやろうよ	海洋少年団 日本海洋少年団連盟
・楽しく学ぼう船のしくみ	伊勢湾フェリー
・2016 年カレンダー	伊勢湾フェリー

・募集のポスターなど



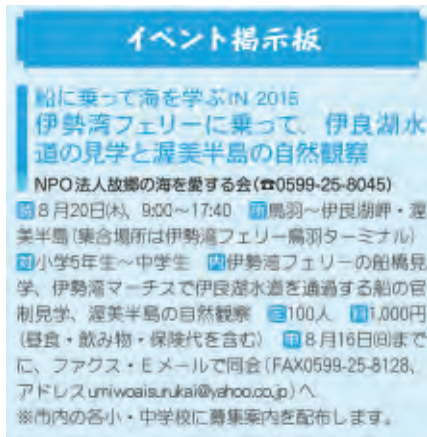
活動その①②③用のポスター

リーフレット

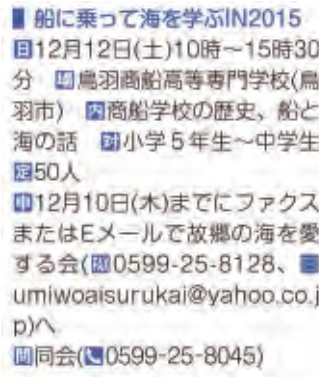
活動その④用のリーフレット

・広報紙、新聞など

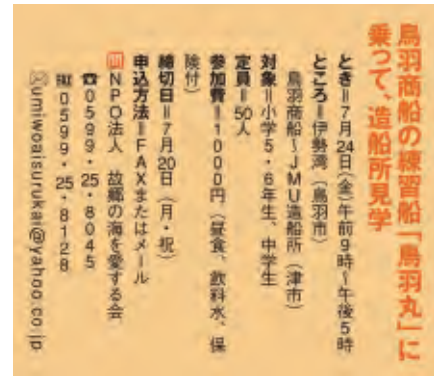
各市町広報誌の編集の都合等があり、5市4町の広報紙に募集記事掲載をして頂きました。



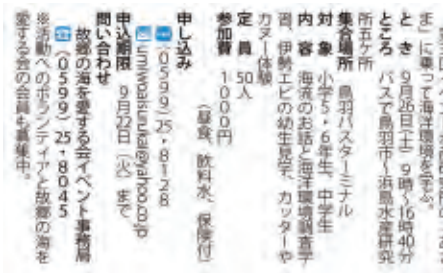
広報いせ 全活動紹介有



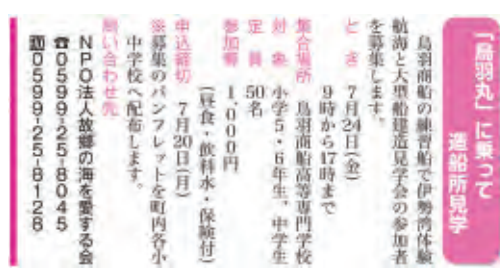
広報つ 1 活動紹介有



広報まつさか 全活動紹介有



広報しま 全活動紹介有



広報みなみいせ 2 活動紹介有

伊勢湾フェリーに乗って、伊良湖水道の見学と遊美半島の自然観察

【とき】 8月20日(木)
9時から17時40分

【対象】 鳥羽市伊良湖町・瀬美半島
対象 小学5・6年生、中学生
定員 100名
参加費 1,000円
(昼食、飲料水、保険付)

【申込み】
電話 0599-25-8128
E-mail umiwaisuruka@yahoo.co.jp

【申込締切】 8月16日(日)
※募集のパンフレットを市内各小中学校へ配布します。
お問い合わせ先
故郷の海を愛する会
イベント事務局
0599-25-8045

広報みなみいせ 2 活動紹介有

NPO法人 故郷の海を愛する会

●船に乗って海を学ぶ IN2015
第一回 鳥羽商船の練習船「鳥羽丸」に乗って、造船所見学

【日時】 7月24日(金) 午前9時～午後5時

【活動場所】 伊勢湾鳥羽市鳥羽商船高専・津市市川造船所

【集合場所】 鳥羽商船高専

【内容】 商船学校の練習船で体験航海及び津市の川造船所で大型船建造見学

【定員】 50名

【費用】 1,000円(昼食、飲料水、保険付)

【申込締切】 7月20日(月)

広報たき 1 活動紹介有

「船に乗って海を学ぶ IN 2015」を開催

鳥羽商船の練習船「鳥羽丸」に乗って造船所見学

【開催日時】 7月24日(金)
午前9時～午後5時

【集合場所】 鳥羽商船高専専門学校

【活動場所】 伊勢湾 鳥羽市・津市

【内容】 航海体験および川造船所で大型船建造見学

【対象者】 小学5・6年生および中学生
50人

【参加費】 1,000円

【申込方法】 ファクスまたはメールにて受付
※詳細は、市内小・中学校に配布する募集案内を(見)てください。

【申込締切】 7月20日(月)

【申込問い合わせ先】 NPO法人故郷の海を愛する会 イベント事務局
0599-25-8045
E-mail umiwaisuruka@yahoo.co.jp

広報わたらい 2 活動紹介有

NPO法人 故郷の海を愛する会
船に乗って海を学ぶ IN2015

第4回イベント もうすぐクリスマス、遊んで学ぼう(造船学校の歴史と船と海の話)

【日時】 12月12日(土) 午前10時～午後3時30分

【場所】 活動場所：鳥羽市 鳥羽商船高専
集合場所：鳥羽商船高専

【対象】 小学5・6年生、中学生

【内容】 船や海の見学、造船学校の練習船シミュレーターで大型船の操船体験やエンジンの見学を体験する。

【定員】 50人

【参加費】 無料(昼食、飲料水、保険付)

【申込】 電話 0599-25-8128 E-mail umiwaisuruka@yahoo.co.jp

【申込締切】 12月10日(木)

※お問い合わせ先 0599-25-8045 故郷の海を愛する会 イベント事務局へ

広報めいわ 全活動紹介有

6-57 週末情報

12月～ 暮らしの道具展 (津)

12日 船や海について学ぶ (鳥羽)

13日 ドローン安全活用講習会 (川越町)

活動その④NHKTV ホットイブニング三重で紹介

・インターネットで募集記事

CAJS お知らせ

「NPO法人 故郷の海を愛する会」主催のイベントが実施されます！

「NPO法人 故郷の海を愛する会」では、12月12日(土)に鳥羽商船高専にて開催される、「もうすぐクリスマス、遊んで学ぼう(造船学校の歴史と船と海の話)」の参加者を募集しております。

募集対象は小学生高学年と中学生です。就学年でも船の人に迷惑をかけず、現から連れて活動に参加できるのであれば、参加して頂けます。完・募が参加するので一緒に参加したい小学生高学年の子供さんも参加可能です。

9:30から受付を開始し、10:00から活動開始となりますので、三重県在住でない方も、集合時刻の10:00前に集まることのできるのであれば、どこからでも参加して頂けます。

詳細は下記のページをご覧ください。

応募フォーム：こちらをクリックして下さい。

故郷の海を愛する会 ブログ：こちらをクリックして下さい。

お問い合わせ先
NPO法人 故郷の海を愛する会 0599-25-8045
故郷の海を愛する会 フォトアルバムイベント

活動その④日本中小型造船工業会HPで募集紹介

故郷の海を愛する会

Blog Profile

活動その④NHKTV ホットイブニング三重で紹介

活動その④日本中小型造船工業会HPで募集紹介

活動その④鳥羽商船練習船「鳥羽丸」に乗って造船所見学

活動その④鳥羽商船練習船「鳥羽丸」に乗って造船所見学

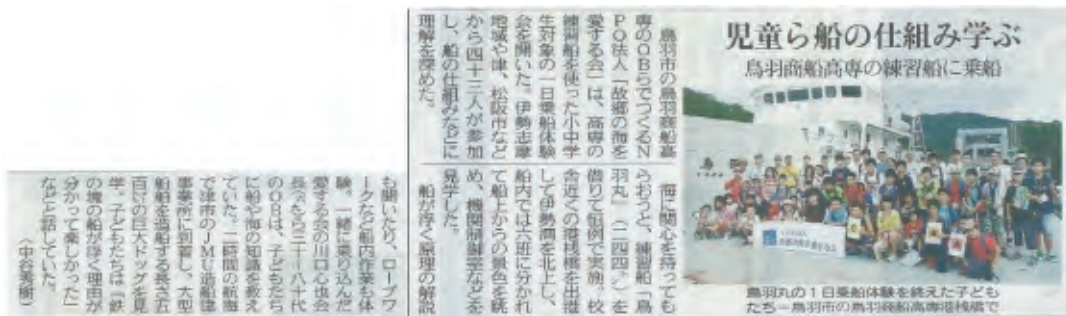
活動その④鳥羽商船練習船「鳥羽丸」に乗って造船所見学

故郷の海を愛する会のブログで毎回参加者募集

・活動紹介記事など



船員しんぶん



活動その① 中日新聞



活動その② 伊勢新聞



東日新聞

3.事業名「ヨットに乗って風を知ろう、海を知ろう IN 2015」

活動計画

事業目的 地域の小中学生に対して、故郷の海を愛する心を育て、素晴らしい日本と日本の海を認識し、「希望と憧れ」の気持ちを醸成させる事に関する事業を行い、もって子供たちの健全な育成に寄与する事。
楽しい海洋レジャー体験を通して海に親しみ、海のルール・海難防止・海洋汚染防止を認識してもらい、海上安全や海事思想を育んでもらう。

事業目標 ヨット体験、結索体験などを通して小中学生が船や海を知り、親しむようになること。

事業内容 国土交通省中部運輸局・近隣市町自治体(鳥羽市・伊勢市・志摩市・松阪市・玉城町・明和町・南伊勢町・多気町・度会町)及び近隣市町教育委員会(鳥羽市教育委員会・伊勢市教育委員会・志摩市教育委員会・松阪市教育委員会・津市教育委員会・玉城町教育委員会・明和町教育委員会・南伊勢町教育委員会・多気町教育委員会・度会町教育委員会)等の後援を得て参加者募集を行う。中部小型船安全協会からの助成を得て事業を実施する。
伊勢市大湊でセイラビリティ伊勢・南勢海洋少年団と協力し、子供達にヨット体験等を実施。ヨット講義、ロープワーク体験、海洋少年団による海の話などを用意する。
南勢海洋少年団の団員による手旗信号実演も行う。
使用可能なヨット隻数から40名募集とする。保護者も別途ヨット体験が出来る様に準備する。
主催者側のボランティア(セイラビリティ伊勢の会員)として、高齢者、障害のある人が参加し、子供たちと一緒にヨットに乗り、指導し、交流を図る。

募集 募集対象を三重県の津市以南の小学生5,6年生と中学生とする。
対象学校毎にポスターを用意する。各市町の広報紙に募集広告を掲載してもらう。
中部運輸局にプレスリリースの協力をしてもらう。

参加費 無料とする。昼食の手配は参加者各自が行う。但し、飲料水、保険は主催者で用意する。

開催協力 本事業は中部小型船安全協会の日本財団助成事業であり中部小型船安全協会は「協賛」。
セイラビリティ伊勢、南勢海洋少年団は「共催」。

活動報告

参加者募集 三重県の津市を含む中南勢地区の各市町の教育委員会の後援を得て、当該地区の小中学校に募集のポスターを配布・掲示して頂きました。又、各市町の広報紙に募集記事を掲載して頂きました。加えて、中部運輸局にも後援をお願いし、活動紹介と募集についてプレスリリースをして頂きました。他にも会員がポスター配布、ビラ配りをして参加者の募集を行いました。
募集のポスターに関してはA3サイズで500枚印刷しました。
対象地区の小中学校数は合計で221校あり、事業「船に乗って海を学ぶ IN 2015」と同じです。

子ども達の参加者 募集は40名、当日参加は40名となりました。
小学4年生以下が半数以上となりました。又、高校生も4名参加となりました。
男子より女子の方が多くの参加となりました。

地域別では、県外からの参加者が10名となりました。夏休みで親の実家のある田舎に帰った子供達が参加してくれました。

参加者	伊勢市		鳥羽市		南伊勢町		津市		松阪市		明和町		玉城町		多気町		県外		合計	
	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女
小学4年以下	2	2		1	2					3	1	2			1		3	4	9	12
小学5年生	1	2					1								1	1			3	3
小学6年生	1	1		1									1					1	2	3
中学1年生									1								1		1	1
中学2年生						2													0	2
中学3年生																			0	0
高校生	1					3													1	3
合計	5	5	0	2	2	5	1	0	0	4	1	2	1	0	1	1	5	5	16	24

保護者8名もヨットに乗ったり、子供達の活動と一緒に参加してもらいました。

主催者側の参加者

中部小型船安全協会から1名、鳥羽海上保安部から3名、セイラビリティ伊勢から9名、南勢海洋少年団から3名、故郷の海を愛する会の会員が13名、看護師さんが1名、合計で30名の参加となりました。

当日の活動

セイラビリティ伊勢の資機材やインストラクターの手配など全面的な協力を得て実施しました。子供たちを4班に分け、ヨットの体験に加え、ヨット講義、海洋安全教室、ロープの結び方体験、手旗信号体験などを楽しんでもらいました。

ヨット体験では、陸上に用意されたヨットを使ってその構造や名前、簡単な操縦の仕方などを学び、その後、先ず子供達一人一人がインストラクターと大湊川に浮かぶヨットに乗艇し、ヨットの操縦を学びました。2回目では子供達が主として操縦し、最後に各班5艇で子供たちだけのヨットレースを行いました。子供たちはレースが一番緊張し、又、印象に残ったと思います。大人は子供達の覚への速さに驚いていました。

インストラクターには高齢者や身体に障害のある人もいます。ヨットを楽しんでいる人たちです。子供たちにとって色々な人との交流はいい刺激になったことと思います。

鳥羽海上保安部の方々により、海洋安全教室ではライフジャケットの装着の仕方やペットボトルを使って身体を浮かばせる方法などを学びました。実際にライフジャケットを装着して海中に転落する実演もして頂きました。海上交通のルールも学びました。又、ロープの結び方も指導してもらいました。簡単なようでなかなか難しかったようです。

南勢海洋少年団には手旗信号を指導してもらいました。自分の名前を打てるようになりました。初めて見たり体験したりした子供達が多くいたので、強く印象に残ったようです。

水野先生にはヨット講義でヨットの構造や理論を教えてもらいました。

昨年は雨や雷でスケジュールが大幅に狂いましたが、今年は計画した活動すべて順調に実施できました。無事の終了、みなさんに感謝でした。

当日の活動スケジュール

班別	9	10	11	12	13	14	15	16	17	
	9:00	9:40	10:30	11:20	12:10	13:00	14:00	15:00	16:20	
A	受付	ヨット①	海洋安全教室 海上保安部	昼食①	ヨット講義	ヨット②	手旗実演 海少団	結索		
	班分け							レース		
B		海洋安全教室 海上保安部	ヨット①	ヨット講義	昼食②	手旗実演 海少団	ヨット②	結索		
	挨拶							レース		解散式
C	注意	海洋安全教室 海上保安部	ヨット講義	ヨット①	昼食②		結索	ヨット②	手旗実演 海少団	
								レース		
D		ヨット講義	海洋安全教室 海上保安部	昼食①	ヨット①		結索	手旗実演 海少団	ヨット②	
										解散 16:30

最初の挨拶・注意のところで、ヨットの簡単な説明を受ける。

ヨット① …………… インストラクターと子供1名でヨット操縦を経験する。

ヨット② …………… 同様の体験とするが、できるだけ子供だけでヨット操縦を経験する。

ヨット講義 …………… ヨットの構造、帆走の理論を学ぶ。

海洋安全教室 ……… 鳥羽海上保安部による海のルールや海難・海洋汚染防止などの話

結索 …………… ロープの結び方を体験する。

手旗信号実演 ……… 南勢海洋少年団による手旗信号実演

レース …………… 子供たちだけでヨットレースを体験する。

昼食は一般参加者は各自持参

熱中症を避けるため十分な水分を用意する。 テントなどで日陰も用意する。

活動の様子



陸上でヨットの説明を受けました



ライフジャケットのテスト



水野先生のヨット講義



鳥羽海上保安部の海洋安全教室



海上保安部による結索体験



南勢海洋少年団の手旗信号体験



インストラクターと一緒にヨット体験



子供たちだけでヨット体験



ヨットレース



集合写真

・アンケートの集計

参加者全員40名にアンケート用紙を送付、30通が返送されてきました。それをまとめました。

- Q1** どこから参加したか？ **A** 省略します。
- Q2** 学年と性別は？ **A** 省略します。
- Q3** イベントを何で知った？ **A** 学校 新聞 広報紙 知人など その他 ?
5 1 1 9 12 2
その他は「祖父」が2名、「海洋少年団」が5名いました。「みずき」が1名
いました。「みずき」が大湊寄港の際、セイラビリティ伊勢の人が募集
活動してくれました。
- Q4** 誰が参加を決めたか？ **A** 自分 親 先生 友達 その他
13 13 0 0 4
従来の傾向とあまり変わらないようです。今回「友達」がゼロでした。
- Q5** 朝何時に家を出発した？ **A** 8時頃が多かったです。5時50分名古屋からが最も早い。
- Q6** 何が楽しかった？ **A** ヨット体験 ロープワーク ヨット講義 海洋安全教室 手旗
25 10 3 1 10
ヨット体験が楽しかったようです。ロープワークと手旗信号
体験も多くの回答が。
- Q7** 今日、びっくりした事、エーと
感じた事 **A** 手旗信号でカタカナのようにするのにびっくり。手旗で遠くの
人と交信できること。ヨットが怖かった。ヨットがすごく速く走る
事がわかった。ヨットが倒れなかった。センターボードがある
こと。ヨットの操船は難しい。もっと長く乗れると思った。水が
入ってきそうで入らなかったこと。帆をピンと張らないといけ
ない事。ヨットは風だけで動くこと。風がないと走らない事。
ライフジャケット装着と非装着では生死の確率が5倍も違うこと。
- Q8** 今日、他校の人やボランティアの
人と話しましたか？ **A** 「はい」27名 「いいえ」3名
「はい」の回答がほとんどでした。活動を通して子供同士、ボラ
ンティアさんといろいろ話をしたようです。いろんな人と話ができて
良い経験になったことでしょう。
- Q9** セイラビリティ伊勢を知って
いましたか？ **A** 「はい」7名 「いいえ」23名
- Q10** ヨットに乗って楽しかったですか？ **A** 「はい」29名 「いいえ」1名
又、ヨットに乗ってみたいですか？ **A** 「はい」27名 「いいえ」3名
何が楽しかったですか？ **A** ヨット操縦が楽しかったようです。
他に、風が気持ちいい 風を感じた ゆっくり進むこと。
- Q11** タッキングはどのようにする事？ **A** 半数近くが「風上に向かって風を受ける向きを変える」
- Q12** センターボードは何の為？ **A** 1/3程度が「船が倒れないように」「横流れをしない」と回答。
- Q13** 帆走中、何が難しかった？ **A** 「風の向きを見る事と帆の張り方」が半数程度回答。
- Q14** ヨット講義で何を学んだ？ **A** 半数近くが「ヨットの走る原理」「ルールを知った」と回答。
- Q15** ロープワークで覚えた結び方？ **A** 「ほん結び」「もやい結び」「ボーラインノット」などなど。ロープの
結び方について覚えたことをとどしどし使って役立ててほしいですね。
- Q16** 海洋安全教室で印象に残ったこと？ **A** 12名の回答に「ライフジャケットの大切さ」「ペットボトルが代用
できる」とありました。子供達の水の事故が少しでも減れば
うれしいことですね。

- Q17 海洋少年団を知っていましたか? A 「はい」13名 「いいえ」17名
意外と知らない子供が多くいました。
- Q18 手旗信号、今までに見たことは? A 「ある」10名 「ない」20名
- Q19 今日、新しい友達が出来ましたか? A 「はい」23名 「いいえ」7名
多くの子供達が新しい友達を得たようです。嬉しいことです。
- Q20 今後、このような活動に参加したいですか? A 「はい」28名 「いいえ」2名

・その他 参加者募集について

*各小中学校などに配布したポスター



募集ポスター



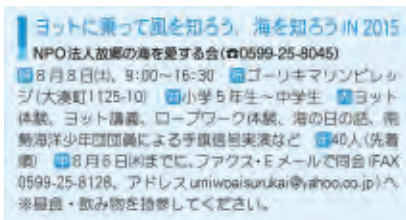
募集のビラ



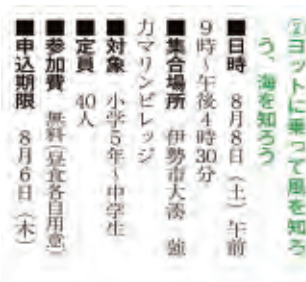
イオン明和店での募集活動

*広報紙に掲載された募集記事

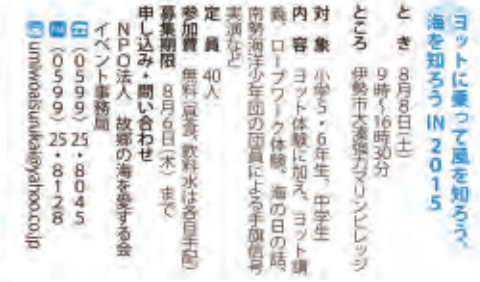
10 の市町の広報紙に掲載の記事の掲載をお願いしましたが、紙面の都合で6 紙の掲載となりました。



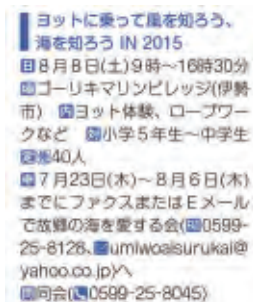
広報いせ 7月15日号



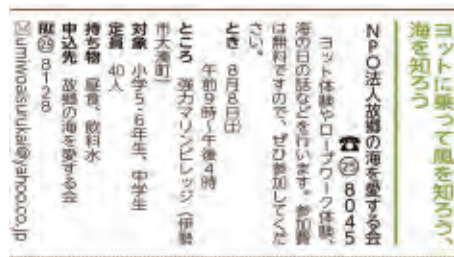
広報めいわ 7月号



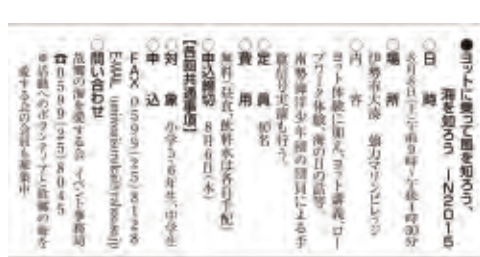
広報しま 7月号



広報つ 7月16日



広報とば 7月号



広報たき 7月号

4.その他の活動

イオン明和店にて広報・募集活動等

7月12日 明和ジャスコ(三重県中南勢地区では最大のショッピングモールがあるところ)にて故郷の海を愛する会の広報活動と活動募集を行いました。少しでも多くの方々に私たちの活動を知ってもらい、多くの子供たちが参加する事を期待して毎年行っています。興味を持っていそうな子供たちや保護者の方々に声を掛けて活動紹介をしました。その結果、新たに会員になってくれた方もいました。以下の写真パネル等を展示しました。

- ・故郷の海を愛する会の紹介 ・会の過去の活動の様子を紹介 ・近藤真琴の紹介
- ・セイラビリティ伊勢の紹介 ・活動募集ポスター

ビデオ映像では日本船主協会から頂いた船の情報や過去の活動の様子を紹介しました。



9月6日 前回と同じく明和ジャスコで故郷の海を愛する会の広報活動と募集活動を行いました。先に同所で行った活動とはほぼ同じ内容で実施しました。



海学祭で近藤真琴展

11月1日(日) 鳥羽商船高専の海学祭が一般開放され、多くの人々で賑わいましたが、当日、百周年記念館で「近藤真琴展」を開きました。多くの見学者が来訪してくれました。近藤真琴は鳥羽商船の校祖であり、明治の6大教育家の一人でもあります。鳥羽市の小学3・4年生の副読本には近藤真琴は郷土の偉人の一人として紹介されています。鳥羽商船高専の校内には「近藤真琴記念碑」もあります。近藤真琴を敬愛する鳥羽の有志が建てた顕彰碑であり、碑銘は勝海舟が書いたものです。



近藤真琴展の様子



近藤真琴記念碑



近藤真琴

海学祭では同校の練習船「鳥羽丸」の体験乗船出港前に南勢海洋少年団と四日市海洋少年団による手旗信号実演がされました。故郷の海を愛する会の要請に応じてくれたもので、初めての実施となりました。「ハブアナイスボヤジ、ゴアンコウヨイノル」と少年団が鳥羽丸に向け信号を送ると、船からは「アリガトウ」と返事がありました。体験乗船する為に集まった多くの人々は興味津々でその様子を見ていました。



5.活動準備など

2015年度の活動に関連し、以下の通り活動への協力依頼・打ち合わせを行いました。
 参加者募集に関して、全日本海員組合名古屋支部と共に鳥羽市と志摩市に対し協力して頂くようお願いをしました。後日、志摩市校長会にて会の紹介と参加者募集に協力方お願いしました。
 更に広耕太郎県会議員の協力を得て伊勢市に対し参加者募集に協力をお願いをしました。

月日	相手	場所	目的
3月16日	伊良湖ビューホテル、田原市商工観光課	田原市	活動その②協力依頼
3月24日	三重県水産研究所、南勢海洋少年団	南伊勢町	活動その③協力依頼
3月26日	JMU 津造船所	津市	活動その①協力依頼
5月20日	鳥羽市教育委員会、志摩市教育委員会 (全日本海員組合名古屋支部長に同行)	鳥羽市、志摩市	募集活動への協力依頼



鳥羽市教育委員会



志摩市教育委員会

6月15日 伊勢市長、教育委員長

伊勢市 募集活動への協力依頼



6月25日 志摩市校長会
 6月30日 鳥羽商船高専練習船船長
 8月23日 南勢海洋少年団
 9月8日 鳥羽海上保安部
 11月19日 日本海事広報協会、全日本船舶職員協会
 11月20日 日本海事センター、日本船主協会
 日本中小型造船工業会、東京大学
 12月14日 飛鳥コンテナ埠頭、太平洋フェリー
 中部運輸局、全日本海員組合名古屋支部
 中部小型船安全協会

志摩市 募集活動への協力依頼
 鳥羽市 活動その①打合せ
 南伊勢町 活動その③打合せ
 鳥羽市 活動その②報告
 東京都 活動報告
 東京都 活動報告
 名古屋市 2016年度活動協力依頼
 名古屋市 活動報告
 名古屋市 活動報告

6.収支報告

今年度は当初事業「船に乗って海を学ぶ IN 2015」のみを計画して、関係先に助成などお願いし、収支計画をたてていましたが、中部小型船安全協会から日本財団助成事業を協力して行いたい旨の申し出があり、事業「ヨットに乗って風を知ろう、海を知ろう IN 2015」を追加で実施しました。それらを併せて2015年度の収支報告としています。

助成金について、当初事業に対し東京大学海洋アライアンスの助成¥100,000を追加で頂いています。なお、「船に乗って…」の事業費は合計で¥2,305,359であり、外部助成金は合計で¥1,590,800、自己負担として¥714,508となりました。(助成が約70%、自己負担が約30%)

「ヨットに乗って…」の事業費は合計で¥397,973であり、中部小型船安全協会の助成が¥292,800、自己負担として¥105,173となりました。(助成が約75%、自己負担が約25%)

活動計算書

(平成27年4月1日から平成28年3月31日まで) (仮決算28年1月31日)

科 目	金 額 (単位:円)	
I 経常収益		
1 受取会費		
正会員受取会費(個人)(1,000円×78人分)	78,000	
正会員受取会費(団体)(1,000円×3 団体)	3,000	81,000
2 事業収益		
第1回事業収益(1,000円×43人分)	43,000	
第2回事業収益(子供¥1,000円×105人・大人¥4,000×31人)	229,000	
第3回事業収益(1,000円×36人分)	36,000	
第4回事業収益(円× 人分)	0	
第5回事業収益(円× 人分)	0	308,000
3 受取寄付金		
受取寄付金(個人)	385,681	
受取寄付金(法人・団体)	45,000	430,681
4 受取助成金等		
受取民間助成金(日本中小型造船工業会)	120,800	
受取民間助成金(全日本船舶職員協会)	150,000	
受取民間助成金(日本海事センター)	500,000	
受取民間奨励金(中部小型船安全協会)	292,800	
受取民間助成金(全日本海員組合)	500,000	
受取民間助成金(鳥羽商船同窓会)	200,000	
受取民間助成金(鳥羽商船同窓会伊勢志摩支部)	20,000	
受取公的奨励金(東京大学海洋アライアンス)	100,000	1,883,600
5 その他収益		
受取利息	51	
雑収益	0	51
経常収益合計		2,703,332
II 経常費用		
1 事業費		
(1) 人件費	0	0
(2) その他の経費		
イベント事業費	609,521	
業務委託費	290,000	
諸謝金(講師・看護師・学生)	262,000	
募集経費	332,000	
印刷製本	230,376	
旅費交通費	462,200	
保険料	193,315	
雑費	51,735	
事業費計		2,431,147
2 管理費		
(1) 人件費	0	0
(2) その他の経費		
租税公課	800	
交際費	54,715	
旅費交通費	3,211	
通信費・運搬費	117,597	
消耗品	84,996	
支払手数料	5,666	
雑費	5,200	
その他経費合計		272,185
経常費用合計		2,703,332
当期正味財産増減額		0
前期繰越正味財産額		0
次期繰越正味財産額		0

貸借対照表

平成28年3月31日現在 (仮決算28年1月31日)

科 目	金 額 (単位:円)	
I 資産の部		
1 現金預金	54,000	
未収金		
流動資産合計		54,000
2 固定資産		
(1) 有形固定資産		
什器備品	0	
有形固定資産計	0	
(2) 無形固定資産		
ソフトウェア	0	
無形固定資産計	0	
(3) その他の資産		
その他の資産合計	0	
固定資産合計		0
資産合計		54,000
II 負債の部		
1 流動負債		
未払金	0	
前受会費	54,000	
前受寄付金	0	
流動負債合計		54,000
2 固定負債		
固定負債合計	0	0
負債合計		54,000
III 正味財産の部		
前期繰越正味財産		0
当期正味財産増減額		0
正味財産合計		0
負債及び正味財産合計		54,000

※本会の決算は4月～3月ですので、上記報告は1月31日時点での仮決算です。一部見込費用も含んでいます。

7.2016年度の活動計画

2016年度の活動は以下のように計画しています。

第1回イベント 伊勢志摩サミットの賢島・英虞湾を船から見学

伊勢志摩サミットが開催された志摩の賢島・英虞湾を船上から見て、午後はカッターやカヌー体験をする。
募集人員50名+ボランティア。(活動に際しての協力:南勢海洋少年団)
場所:鳥羽～志摩半島 時期:7月初旬

第2回イベント 鳥羽商船高専の練習船に乗って体験航海と造船所見学

鳥羽商船高専の練習船「鳥羽丸」での伊勢湾体験航海で船の設備、構造、機関等のお話・ロープワーク等を体験する。加えて津市のJMU造船所で大型船の建造工程を見学し、船の大きさを体感する。
募集人員50名+ボランティア。(活動に際しての協力:鳥羽商船高専並びにJMU)
場所:伊勢湾及び津市。時期:7月下旬

第3回イベント 名古屋港のコンテナヤードの見学と大型フェリーの見学

バスで名古屋に移動し、名古屋港の飛鳥コンテナ埠頭の見学と停泊中の大型フェリーの見学をする。
募集人員90名+ボランティア。(活動に際しての協力:飛鳥コンテナ埠頭、太平洋フェリー)
場所:鳥羽～名古屋。時期:8月下旬

第4回イベント もうすぐクリスマス、遊んで学ぼう。商船学校の歴史と船と海の話

鳥羽商船高専の校内で、船や海の講演を聞き、操船シュミレーターで模擬操船体験や大型機関の発停を体験する。他にコンピューター・プログラム・ロボットなどの講演を聞き、ロボットやアプリの体験をする。
募集人員50名+ボランティア。(活動に際しての協力:鳥羽商船高専)
場所:国立鳥羽商船高等専門学校校内 時期:12月下旬

年間4回のイベントを計画し、国立鳥羽商船高等専門学校・国土交通省中部運輸局・近隣市町自治体(鳥羽市・伊勢市・志摩市・松阪市・玉城町・明和町・南伊勢町・多気町・度会町)及び近隣市町教育委員会(鳥羽市教育委員会・伊勢市教育委員会・志摩市教育委員会・松阪市教育委員会・津市教育委員会・玉城町教育委員会・明和町教育委員会・南伊勢町教育委員会・多気町教育委員会・度会町教育委員会)等の後援を得て参加者募集を行う。国立鳥羽商船高等専門学校の練習船「鳥羽丸」学校施設の利用等全面的な協力、鳥羽商工会議所、鳥羽市観光協会、鳥羽商船同窓会の後援を得て事業を実施していく。助成に関しては、鳥羽商船同窓会に加え、日本中小型造船工業会、日本海事センター、全日本海員組合、東京大学海洋アライアンス等からの助成を期待しています。

活動計画としては、上記に加えて、

- ・鳥羽商船学校の校祖「近藤真琴」を紹介するパネル展を鳥羽商船高専の海学祭(11月)で行います。
- ・広報活動をショッピングモールイオン明和店で実施します。
- ・セイラビリティ伊勢や南勢海洋少年団の活動に協力したいと考えています。

8.主催者の感想と反省など

子供たちにもっと世界に繋がる船や海を知ってもらおうと活動を開始して7年経ちました。最初の3年間は日本財団の助成を得て年に3回の活動を実施していました。その後はいくつかの海事関係の団体の協力を得て、年に4～5回の活動を実施しています。2015年度は事業名「船に乗って海を学ぶ IN 2015」で4回、「ヨットに乗って風を知ろう、海を知ろう IN 2015」で1回の活動を実施しました。対象地域は活動を開始した当初は、鳥羽市、伊勢市、志摩市のみでしたが、その後、三重県の中南勢地区で広げ、2015年度には津市を新たに追加、5市5町となっています。活動の集合時間から見ればこれが限界かと考えます。

募集対象は対象地域の小中学校221校の主として小学5・6年生と中学1・2年生としました。新たに津市を加えたこともあり、約25000名となりました。

募集は学校にポスターの掲示をお願いするだけでは応募状況が芳しくありません。ポスターに加え、募集リーフレットを用意しましたが、費用の事もあり、小学5・6年生と中学1・2年生を対象としました。各市町の広報紙には概ね希望する募集記事掲載をして頂きましたが、余裕をもって記事掲載をお願いする事が肝要です。又、今年から鳥羽市、伊勢市、松阪市、津市の記者クラブに情報提供を行い、募集記事などの掲載をお願いするようになりましたが、来年はもっと丁寧に行い、募集記事の掲載に加え、実施記事の掲載などもお願いしようと思います。

募集に関し、各市町の後援は頂いていますが、全日本海員組合名古屋支部の協力を得て、鳥羽市と志摩市の教育委員会に更なる募集活動への協力をお願いしました。広耕太郎県会議員の協力を得て、伊勢市の市長、教育長に面会し、更なる募集活動への協力をお願いしました。

応募について、今回の活動その②の伊良湖体験はたくさんの応募があり、お断りした方も多くいました。しかし、その他の活動については募集定員割れでの実施となりました。参加者集めが懸案です。小中学校へのポスターやリーフレットの配布と広報紙等への募集記事掲載のみでは、募集者を集めるのは大変です。より多くの団体と協力して活動し、参加者集めに協力してもらおうとか、対策が必要と考えます。

保護者の参加について、活動その②で31名の保護者に参加して頂きました。親子で一緒に活動し、非常に良い経験だったと大変喜んでおられました。ただ、本会は当初から、「活動は子供だけ参加」とし、子供が保護者から離れて、見知らぬ子供たちと一緒に活動するようにしたいと考えているので、今後も基本的には保護者も一緒に参加とはしないつもりです。

アンケートについて、子供達にはその活動で学んで欲しい事をアンケートの中にいくつか含んで用意しました。事前に子供達に話をする人たちにそれらを含めて話をするようお願いしました。活動その②で参加の保護者にも別途アンケートを用意しました。多くの方々には満足して頂いたようですが、運営に関して厳しい意見も頂きました。しっかり反省して、今後の活動に生かしたいと思います。

本会の活動のその①とその④が鳥羽商船高専の公開講座として実施されました。2015年度からです。

活動資金について、今年度は自己資金として¥82万程度(全収入の3割程度)を会員の会費・寄付、参加者の参加費で賄いました。来年度も計画通りに活動を実施するためにより多くの会員を集め、寄付を募りたいと考えています。

その他の活動資金は外部からの助成金で賄い、鳥羽商船同窓会に加え海事関係の団体から頂きました。今年度、新たに東京大学海洋アライアンス海洋教育促進研究センター並びに中部小型船安全協会から頂いています。

来年度もしっかり資金集めをして計画の活動すべてを実施したいと考えています。

・終りに

後援、資金提供・資料提供等本活動に関し、以下の団体、自治体、会社に多大なるご協力を頂きました。成功裏の活動終了はみなさんのおかげです。ありがとうございました。

- ・中部運輸局、三重県運輸支局鳥羽海事事務所
- ・鳥羽海上保安部 ・伊勢湾海上交通センター
- ・三重県教育委員会
- ・三重県水産研究所
- ・津市、松阪市、伊勢市、鳥羽市、志摩市、多気町、明和町、度会町、玉城町、南伊勢町の各市町・教育委員会、各小中学校
- ・鳥羽商工会議所 ・鳥羽市観光協会
- ・日本海事センター
- ・日本船主協会
- ・全日本海員組合
- ・日本中小型造船工業会
- ・全日本船舶職員協会
- ・東京大学海洋アライアンス海洋教育促進研究センター
- ・中部小型船安全協会
- ・JMU 津造船所
- ・田原市商工観光課 ・渥美半島観光ボランティアガイドの会
- ・伊勢湾フェリー
- ・伊良湖ビューホテル
- ・セイラビリティ伊勢
- ・南勢海洋少年団
- ・イオン明和店
- ・鳥羽商船高等専門学校
- ・鳥羽商船同窓会

以上

(2016年1月最終報告として作成 S.K)

NPO法人 故郷の海を愛する会

三重県鳥羽市鳥羽三丁目31番37号

Tel 0599-25-8045 Fax 0599-25-8128

<http://blog.canpan.info/umiwoaisurukai/>

Email: umiwoaisurukai@yahoo.co.jp